

1月 旧車両のさまざまな点を改良した新車両

18日 消防タンク車を更新



◀3,000ℓの水量を積載できるタンク車

消防署にタンク車（水槽付消防ポンプ自動車）を導入しました。新車両は旧車両の2倍となる3,000ℓの水量を積載することができ、火災発生時の初期対応や山間部や高速道路等の消防用の水が乏しい地域での活動が期待できます。また、水を吸水する吸管が車両内部に巻き取って収納できる点や油火災用の消火薬剤用のタンクと混合装置を搭載していることで早期の泡放水を可能にしている点で旧車両からの改良が図られています。

1月 1月26日は文化財防火デー

21日 文化財防火運動に伴う訓練



◀訓練の最後に行われた一斉放水

田光のシテコブシおよび湿地植物群落で文化財防火運動に伴う特別消防訓練が実施されました。これは町民の文化財に対する防火意識を高めるとともに、関係者や消防職員の火災防ぎょ技術の向上を図ることを目的に実施され、消防職員など約20人が参加しました。訓練では文化財の消火活動のほか、一斉放水も行われました。霜が降りる厳しい寒さではありましたが、消防職員は真剣な表情で取り組んでいました。

1月 正月の昔ながらの遊びを楽しむ

8日 たこあげ大会を開催



◀たこあげながら楽しそうに駆ける子ども

たこあげ大会が朝上小学校グラウンドで開催され、家族連れを含む102人が参加しました。当日は雲ひとつない晴天で心地よい風が吹き、たこあげには絶好の天候の中、参加者が作り上げたたくさんのたこが勢いよく大空に舞い上がっていました。

1月 今回のテーマは「五百羅漢」

16日 手づくり民話絵本コンクール



◀受賞者全員での記念撮影

多世代の方が民話を楽しみ、興味をもつきっかけとなることを目的に菰野町手づくり民話絵本コンクールが開催され、表彰イベントが町民センターホールで行われました。お絵かきの部では佐藤奏斗さんの「ニコニコしている石仏様」が、絵本の部では松岡由香さんの「ぼくのかわりに」が最優秀賞に選ばれました。絵本の部最優秀作品の「ぼくのかわりに」は製本化され、町民センターで購入することができます。



◀お絵かきの部最優秀賞を獲得した佐藤さんの作品

1月 町を守る消防団員と消防職員が集結

9日 消防出初式を開催



◀ドローンで撮影した消防団員と消防職員の整列の様子

消防団員と消防職員合わせて147人、車両13台が集い、消防出初式を保健福祉センターけやき駐車場で開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、例年行っている三滝川への一斉放水や通常点検、機械器具点検といった訓練などは行わず、優良消防団員とその関係者の表彰のみが行われました。



◀会場に集結した消防団と消防署の車両13台

表彰者一覧

団本部 菰野分団 鶴川原分団 竹永分団  
朝朝上分団 千種分団 湯の山分団 本部分団

■消防庁長官表彰

元朝上分団分団長 ▶ 勝川卓也

■三重県消防協会長表彰

【功績章】分団長 ▶ 水谷弘樹 湯【精勤章】分団長 ▶ 谷陽介 千種副分団長 ▶ 福井智彦 湯【表彰徽章】団員 ▶ 安藤麻世 羽木伸太郎 谷 勇輝 河合喬也 平野博紀 服部好紀 栗山紀貴 幸崎大樹 宮崎重重 出口利也 岡山洋輔 徳武誠也 本

■三重県消防協会北勢支会長表彰

【消防団員表彰】団員 ▶ 生川 大 廣田雄亮 石井優登 宇佐美嘉紀 野崎貴之 山口征紀 小河貴大 本

■菰野町長表彰

【特別功労章】副団長 ▶ 前田順治 湯分団長 ▶ 水谷弘樹 湯【永年勤続章】分団長 ▶ 谷陽介 千種班長 ▶ 矢田正歩 湯団員 ▶ 南川幸清 湯【精績章】副分団長 ▶ 松永紘樹 朝朝朝員 ▶ 萩 寛文 千種一馬 湯【精勤章】分団長 ▶ 坂上秀映 本班長 ▶ 川崎信治 朝朝朝員 ▶ 小林佳史 本【精勤章】団員 ▶ 生川 大 廣田雄亮 石井優登 宇佐美嘉紀 野崎貴之 山口征紀 小河貴大 湯【感謝状】元朝上分団分団長 ▶ 勝川卓也 元本部分団分団長 ▶ 吉岡真吾 朝朝上分団副分団長の妻 ▶ 松永由加里 本部分団分団長の妻 ▶ 坂上美紗

■菰野町消防団長表彰

【表彰徽章】団員 ▶ 柿市哲哉 宮崎晃輔 浦口豊照 佐々木 哲 西田尚史 堀内俊良 服部瑛仁 宇佐美学 大橋 拓 諸岡義樹 石崎光基 増田 功 岡村洵弥 北住周平 福島良介 敬称略

1月 「湯の山道院」の拳士が演武を披露

6日 少林寺拳法で全国大会出場



◀町長の前で型を披露した川村さん（写真左）、遠藤さん（写真中央）

第55回少林寺拳法全日本学生大会の女子単独有段の部 単独演武に出場した川村海月さん（名城大2年）が2位になり、全国中学生少林寺拳法インターネット大会に出場した遠藤 築さん（菰野中3年）、中村 絆さん（同3年）が優秀賞を受賞し、川村さんと遠藤さんが町長を訪問しました。町長から競技のやりがいを問われると、川村さんは「私はもともと上手くはなかったのですが、強くなり上手くなったと実感する場面です」と答え、遠藤さんは「自分が拳士として成長していくことが楽しいです」と答えました。

1月 子どもから大人まで新年を祝って書に励む

8日 第20回新春書き初め大会



◀法被を着て真剣な表情で書に取り組み参加者

新春書き初め大会を体育センターで開催し、子どもから大人まで87人が参加しました。今回は大会の冒頭に、第20回の開催を記念して「少年易老学難成（少年老い易く学成り難し）」「一寸光陰不可軽（一寸の光陰軽んずべからず）」と大きな筆で一人一文字ずつ記念揮毫を行いました。参加者は「おとし玉」「もちつき」など新年にちなんだ作品に取り組んでいました。